



ハート通信

Heart News

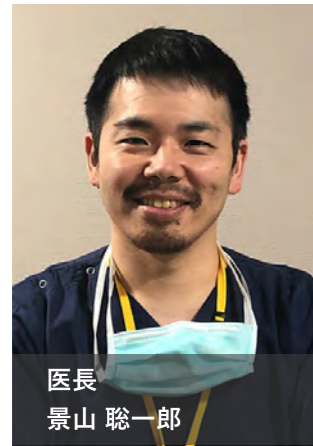


患者さんとの1枚

目次

- 000 総長ご挨拶
- 001 医師からご挨拶
- 002 薬剤部
- 003 術後体験記
- 004 会長 ご挨拶

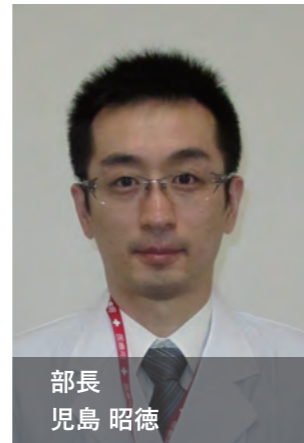
厳しい気候変動や世界情勢の悪化が進む中、皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症については、感染状況の位置づけが5類に移行し、重症化される方も減少していることから、少しは安心感が広がっていることと思います。コロナ禍はオンラインが主とした術後の会でありましたので、通常通りに開催できるのは、4年ぶりとなりました。今回は、バスツアーではなく、ホテルプラザ勝川での懇親会となります。多くの患者さんから、術後の会を楽しみにされていることを伺っております。皆さまと再会し術後の健康に関する質疑応答や交流の場を持ちたいと考えております。コロナ禍の制約の中で、運動不足や食生活の変化が生じていることと思われます。日頃から血圧、血糖、コレステロール、体重のチェックを怠らざうことをおすすめします。また、最近では腕時計型のデバイスによる脈拍数や酸素濃度、血圧、歩数などのヘルスチェックが可能となっており、一つの選択肢として検討してみることも良いかもしれません。日々の食事や運動、睡眠、体重に気を配ることが、皆さまの健康と寿命に繋がることを心に留めておいてください。皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。



医長
景山 聡一郎

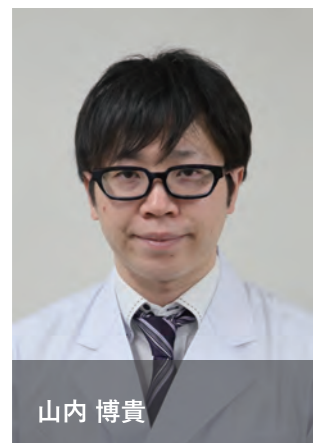
平素より大変お世話になります。
現在、当院では多くの緊急手術をさせて頂いております。特に急性大動脈解離や腹部大動脈瘤破裂、狭心症などの心臓大動脈の緊急疾患を、岐阜県や三重県など広範囲の医療機関よりご紹介頂いております。
昨年は、急性大動脈解離のこれまでの手術の経験をまとめた論文を、心臓外科領域では世界でも最も権威のある雑誌に投稿し、世界的にも評価をいただきました。高品質な医療を提供し、地域の皆様のお役に少しでも立てることは、大きな喜びと感じております。
これからも24時間365日断らない緊急医療を続けてまいります。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、世間は落ち着きを取り戻しつつありますが、緊急手術を要する患者さんに対して、出来る最善の救命処置を行うために、2023年も日々精進を続けております。特に胸部大動脈領域ではオーブンステントグラフトを併用した術式を用い、手術時間の短縮などを図っています。血管内治療ではステントグラフト治療や経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）、マイトラクリップも順調に成績を伸ばしております。また手術支援ロボットda Vinci補助下の僧帽弁形成術も順調に症例を重ねております。当院で手術を受けられる患者さん及びそのご家族様に、より満足して頂けるよう、ハートチームの一員として励みたいと思ひます。



部長
児島 昭徳

2019年に当院赴任し今年で5年目となります。当院では幅広い治療並びに診療をさせて頂いております。
ロボット手術はじめステントグラフトなどカテーテル治療など所謂いわゆる低侵襲手術なども行っています。幅広い治療が出来るので、個々に応じた最適な治療をご提案できると考えております。
治療法だけでなく診療内容も多岐に渡ります。心臓・大血管だけでなく、静脈瘤やシャントなどの末梢血管診療もさせて頂いております。
より一層質の高い医療を提供ができるように努めてまいりますので今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

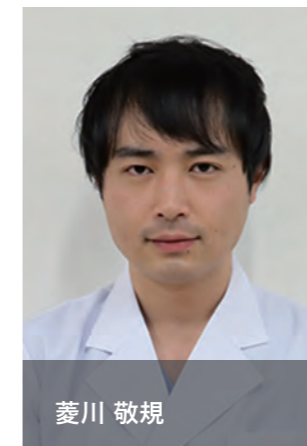


山内 博貴

昨年度より当院に転勤し1年が経過しました。手術、病棟、外来を通し、多くの患者さんと関わらせて頂きました。手術や病棟で関わった患者さんの元気なお姿を術後に外来で診させていただくのが糧になり大変嬉しく思います。また、地域の先生方とも多く関わらせて頂き、大変お世話になっております。当院の諸先輩方がされて来たように、患者さん、地域の先生方からのニーズに対し柔軟に迅速に応えられるように今後も心がけて行きたいと考えております。お困りのことがありましたら、いつでもどこでもお気軽にご相談頂けますと幸いです。



森田 英男



菱川 敬規

日常診療を通して様々な臨床の場に携わらせて頂き、日々心臓血管外科に関わってくださっている全てのスタッフの方々、及び地域の先生方への感謝を感じております。循環器疾患は生命に直接かかわる病気であり、我々にとって患者さんが手術を受けられ、元気に帰られる姿が一番の喜びであり、また同時に経過が芳しくなかったり、不幸な結果になってしまう事は一番の悲しみでもあります。しかし我々は医師としてそのような時こそ患者さん家族に寄り添い真摯に結果を受け止め、心臓血管外科医として日々精進しなければいけないと強く感じております。今後もチームの一員として地域の方々に必要とされる医療を提供できるように絶えず研鑽を続けていく所存です。また、皆様大変暑い日々が続いておりますが、適度に水分補給を頂き熱中症にはくれぐれもお気をつけください。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

当院で働き1年が過ぎました。心臓・大血管手術に関わらせて頂くほか、透析シャント関連のトラブルマネジメントなど、末梢血管領域でも多くの患者さんに携わっております。心臓外科医としてはまだまだ学ぶことばかりであり、先輩方からのご指導を受け、修練を行っています。技術的には修練途上の身ではありますが、患者さんのお話をよく聴き、寄り添うことで、細かな変化にいち早く対応したいと考えて

おります。何かありましたらお気軽に申し付けください。誠心誠意、診療させて頂きます。



曽我部 博文



日置 薫

大垣徳洲会病院は、名古屋徳洲会総合病院の心臓血管外科チームとして心臓・大血管、末梢血管の手術を行っています。
大垣ではロボット補助下の手術はできませんが、適応があれば名古屋徳洲会への紹介も迅速にさせて頂いております。患者さんの立場や気持ちに寄り添って満足度の高い医療を提供できるようにコメディカル含めたチームで治療にあたります。

あなたの血圧 大丈夫ですか？

なぜ高血圧を治療しなければならないのか…

血管の壁は本来弾力性があるのですが、高血圧状態が長く続くと血管はいつも張りつめた状態におかれ、次第に厚く、しかも硬くなります。これが高血圧による動脈硬化で、脳出血や脳梗塞、大動脈瘤、腎硬化症、心筋梗塞などの原因となります。高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満などの生活習慣病をコントロールすることが心臓血管病の予防でとても大切なことです。

薬剤部特集ページでは、当院の心臓血管外科病棟の担当薬剤師として働く服部彩香さんに、高血圧の症状や治療、治療薬、薬を使う上での注意点などについて聞きました。



身近な病態 「高血圧」を知ろう！

「高血圧症」とは？

血圧とは心臓から送り出された血液が動脈の内壁を押し出す力のことで、

高血圧症とは、繰り返し測っても血圧が正常より高い場合をいいます。一般的には診察室でのくり返しの測定で最高血圧が140mmHg以上、あるいは、最低血圧が90mmHg以上で、家庭で測定した血圧が最高血圧で135mmHg、最低血圧が85mmHg以上あれば、高血圧と診断されます。

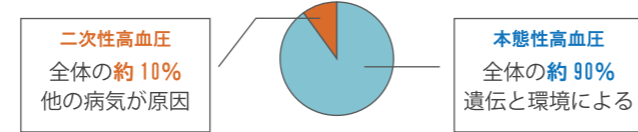
ただ、目標値は1人1人の病態に応じて変わってくる場合もありますので、主治医の指示に従ってください。

家庭血圧

上の血圧	下の血圧
135mmHg	85mmHg以上

高血圧症には種類があります！

高血圧は原因によって大きく2種類に分類されており、それぞれ「本態性高血圧」、「二次性高血圧」と呼ばれています。**二次性高血圧**は、甲状腺や副腎など血圧に関係するホルモンの病気や、睡眠時無呼吸症候群などの状態が背景にあり、それらの結果として血圧が高くなったものです。一方で**本態性高血圧**とは、背景に特定の疾患がないにも関わらず血圧が高くなったものです。日本人の高血圧の大部分がこちらの本態性高血圧です。塩分の摂り過ぎや肥満、飲酒、運動不足、ストレス、遺伝等の複数の要因がかかっていると考えられています。



高血圧症の治療方法

まず、減塩です。塩分を摂りすぎると血圧が上昇するため、1日6g未満にすることが推奨されています。また、運動不足の改善やストレス、過剰飲酒などの生活習慣を見直すことから始まります。

その結果、目標の数値まで血圧が下がらず安定しない、改善しない場合は薬物治療が開始されます。



薬物治療は血管を治すものではなく血圧をコントロールしていくものです。検査値が良くなったから、症状がないからといって自己判断で服用を止めたりしないで下さい。血圧の上下が何度も繰り返されると血管に傷をつける原因にもなります。基本的に薬の服用を始めた場合は、生活習慣の改善を行いながら一生続けていくものと考えて下さい。

当科でよく使用されている「降圧薬」

Ca(カルシウム)拮抗薬

ニフェジピン(アダラート)・アムロジピン(ノルバスク)等

血管細胞内にカルシウムが流入すると血管が収縮し、血圧が上昇します。カルシウム拮抗薬は、カルシウムチャンネルをブロックすることで血管の収縮を抑えて、血管を広げ、血圧を下げる効果を発揮します。

冠動脈の拡張作用、痙攣抑制作用ももつので狭心症に用いられるものもあります。

糖代謝や脂質代謝に悪影響を与えにくいため、糖尿病や脂質異常症を合併する高血圧の方にも有用です。

★注意点

グレープフルーツジュースやグレープフルーツの果肉に含まれる成分により、作用が増強される可能性があります。血管拡張作用から、頭痛、ほてり感、浮腫み、めまいが起こることや、歯肉肥厚が生じることや頻脈、徐脈が生じることもあります。

αβ遮断薬、β遮断薬

アーチスト(カルベジロール)・メインテート(ビソプロロール)等

緊張したり、ストレスを感じるとカテコールアミン(アドレナリンなど)という物質が出て、心臓がドキドキしたり血管が収縮したりして血圧が上昇します。カテコールアミンは血管に存在するα受容体、心臓に存在するβ受容体に結合して作用します。この薬はその結合を妨げることで、血圧を下げます。β遮断薬は心臓の興奮をおさえることで心臓を休ませて血圧を下げるため、狭心症や頻脈性の不整脈の治療にも用いることがあります。

★注意点

β受容体は気管支にも存在し、気管支拡張を阻害して喘息を悪化してしまうので喘息の既往がある方は必ず医師又は薬剤師に申し出てください。ただし、気管支に存在するβ受容体には作用しない薬剤もあるため、気管支喘息の方でも使用できる薬剤はあります。

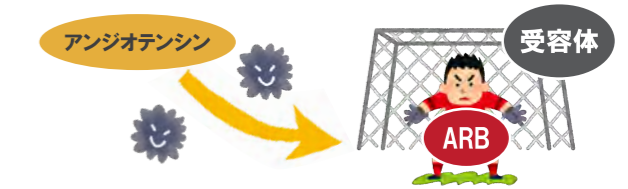
※お薬を飲むときの注意点

- ・降圧薬は全ての薬でめまいやふらつきなどが生じることがあります。転倒しないように注意して生活するよう心掛けてください。
- ・症状が続く場合やひどい場合はかならず医師か薬剤師に申し出てください。
- ・薬を飲み忘れた時の対処法は、薬によって異なりますので、事前に医師に指示を受けておくようにしましょう。飲み忘れても、まとめて飲まないでください。
- ・お薬の効果を出すために、また副作用を防ぐためには、医師に指示された通りの時間に、指示された通りの量の薬を飲み続けることが大切です。

ARB(アンジオテンシンII受容体拮抗薬) ACE(アンジオテンシン変換酵素阻害薬)

オルメサルタン・ミカルディス・リシノプリル・エナラプリル等

アンジオテンシンIIという物質が受容体に結合すると、血圧上昇方向に体は働きます。そのため、アンジオテンシンIIを作り出す酵素と結合する受容体を阻害することで血圧を下げる働きがあります。心保護作用もあり、心不全の方に使用されることもあります。



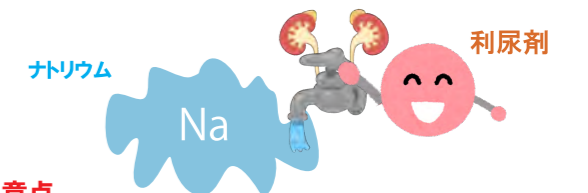
★注意点

ACE阻害薬にはめまいや血管浮腫、空咳が生じることがあります。ARBはACE阻害薬に比べ空咳が生じる可能性は低いです。

利尿剤

フロセミド、スピロラクトン

体の余分な水分を塩分とともに尿に排出する薬です。循環血液量が減るため、むくみも少なくなり血圧も下がります。同時に心臓の負担も軽くなります。



★注意点

必要以上の水分が体外に排出されてしまうと、血液中のカリウムが低下、尿酸値の上昇、血糖の上昇、腎機能の悪化が起こることがあります。一気に水分を大量に摂取してしまうと、心臓に負担がかかってしまうため、こまめな水分摂取を心がけて脱水に注意するようにしてください。口渇症状、急激な体重の低下が生じた際は、医師、薬剤師に申し出てください。



名古屋徳洲会総合病院 薬剤部 服部 彩香

入院患者さんへのお薬の効果の説明や副作用が起こっていないかの確認など、安心してお薬を使って頂けるように努めています。お薬に関するご質問などがありましたら、お気軽にご相談ください。

手術を受けた患者さんからの声

心臓血管外科の手術を受け、無事に退院された患者さんから、体験談や感想のお便りが届いていますので、ご紹介させていただきます。



H.Kさん（75歳 男性）

5月16日に再入院し、診察・治療・術後のケア等をして頂き、大変お世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。お陰様で無事退院することが出来、ホッとしております。

多少制約された生活がしばらく続きますが、頑張っ
て乗り越えます。

皆様もお体に気をつけて患者さんのために日夜励ん
で下さい。本当にありがとうございました。

M.Tさん（74歳 男性）

先日、僧帽弁の手術を行い、無事に退院することが
出来ました。感謝申し上げます。現在の医学の進歩に
改めて驚かされます。

院内のスタッフさんの対応、そして術後のアフター
ケアは完璧でした。患者は安心して身を任せられます。
色々お世話になりました。



ある日突然胸の痛みが !?

患者さんから寄せられた 「術後体験談」

H.Aさん（62歳 男性） 聴診から発覚！「大動脈弁狭窄症」

大動脈弁狭窄症で開胸手術を行い、生体弁に取り換
える手術を行いました。

これまで動悸、息切れ等自覚症状は全くなく、私自
身心臓病を抱えている認識はありませんでした。高血
圧の治療で通院していた地元の病院で医師が聴診の際、
「心臓の音が通常と違う。」と指摘され、紹介された徳
洲会で検査を受けたところ「重症の狭窄症」の診断。
緊急性はありませんでしたが、早期の手術を勧められ
ました。私は40歳頃から会社の健康診断で高血圧・
高脂血症などを指摘されており、動脈硬化の恐ろしさ
も再三説明をされていました。しかし、単身赴任が長
く（言い訳になりませんが）外食が多かったこともあり、
食生活の改善を徹底できずにいました。もっと真摯に
向き合い、生活習慣を根本的に改めるべきでした。

大動脈弁が石灰化し、開きが悪くこのまま放置して

おけばいずれ死に至ると聞き手術を決断しました。

「心臓の手術なんてリスクが高いんじゃないの？」「一
度止めた心臓を治療後に動かすことなんてできるの？」
など、素人の私には不安がいっぱいでした。しかし、
担当医の先生は分かりやすく、一つひとつ丁寧に説明
をしてくださいました。最後に、（私の場合は）95%何も
起こらず無事手術は完了しますと断言して頂き、安心
して手術を受けることが出来ました。

実際何も起こらず、術後も順調に回復し無事退院す
ることが出来ました。胸の痛みも殆ど無かったため、
リハビリが順調に進んだからだと思います。

今後は、動脈硬化に気を使った食事、運動で生活習
慣を改善し、仕事や趣味、家族との時間を楽しむなど
有意義に過ごしたいです。もう二度と大病はしないぞ！
先生並びにスタッフの方々、ありがとうございました。

Y.Kさん（75歳 男性） 急な胸の痛みと手足のしびれ！「大動脈解離」

2月23日、急な胸の痛みと痺れが起き、急遽家内に
電話をかけたところまでは覚えています。それ以降は
3月3日まで三途の川を行き来していたようです。

気が付いて目を開けると最初に見たのは病院の天井
でした。そこには魍魎魍魎がぐじゃぐじゃいて、目を
つむると灼熱地獄でした。喉がとても渇き、「水が欲し
い。水をくれ！」と叫んでいたことを覚えています。
しかし、その時はまだ誤飲を避けるため、水を貰える
状況ではありませんでした。

何度も水が欲しいと騒ぐ私を見かねてか、男性看護
師さんが濡れた歯ブラシで拭い、水を含ませて口の中
に入れてくれました。私は地獄で仏に会ったような気
持ちでした。

「今日は何日か分かりますか？」と聞かれ、私が首を
振ると、「3月3日、ひな祭りの日ですよ。Kさんは8

日間も夢の中でした。よく頑張りましたね！もう少し
我慢してくださいね。」と声をかけてくれました。その
時私は、「ああ…生かされたんだ。この救われた命を大
切にして頑張って生きていこう！」と、思いました。

病名は「大動脈解離」でした。当初は別の病院に救
急搬送されたみたいですが、そこを經由して徳洲会に
搬送、手術とICUでの治療をしました。幸い後遺症も
なく思いのほか経過も順調でわずか20日ほどで退院
が出来ました。

経過観察などで今後も徳洲会に通いますが、一部は
近くの病院で診て頂けるよう手配してもらえました。

主治医の先生、看護師さん、生かして頂き本当にあ
りありがとうございます。今後は大好きなボウリングが出
来るよう、リハビリに努め、1日も早く復帰したいです。
本当にありがとうございました。

R.Tさん（80歳 女性） 病棟看護師さんへ ～感謝の思い～

この度は緊急入院の日々、大変厳しい状況から対応し
て頂き、誠にありがとうございます。お陰様で呼吸困難
の苦痛は皆無となり、日々無事に過ごせています。心か
ら感謝しておりますものの…傷の回復は老いの身と重な
り日数を待つしかないようです。

入院中の日々を思い出しながら私の気持ちを含め、「言
葉綴り」をさせて頂きました。

「事故前は 命の授かり 両親と 術後の命 師と職員から」

募る思いから感謝の言葉数多です。感動、感激、嬉し
さ、喜びと。数限りなく表現全てにおいて「感謝、多大」
に持ちての言葉で、「リハビリの先生（師）や、職員さ
んに生かしていただいた命」涙とともに残せました言葉
です。重ねてお礼申し上げます。

3階病棟のすべての皆様のお名前は分からず退院と
なりましたが、感謝の気持ちでいっぱいです。

病気とは云え、当病院へご縁があったこと「心の幸」
と受け止めて生い先少ない子の日々を楽しく元気に過ご
したいと思っております。

これからもお身体への気配りを忘れず、大切に日々
のお勤めに今と変わらずの誇りをもってお過ごしくださ
いますよう、心からお祈り致しております。

「悪縁が 取り持つ良縁 苦笑いなり 人の出会いに ドラマ宿り」

「事故前の 暮らしに戻れる 日も近し 自然楽しむ 山と畑へ」

患者さんのご家族様からもお便りを頂きました！

主人が入院中、着替えなどを届けに病棟に伺っていま
した。皆様忙しそうに仕事をしていらして声をかけるこ
とも躊躇することがあります（悪い意味ではなく仕事を
懸命にされているからです）。家族としては面会もできず、
スマホでの会話も同室の方の迷惑を考えて控えている状
態で、時には不安なこともありました。そんな折、男性

看護師のYさんが「何かお聞きになりたいこと、不安な
ことはありませんか？」と、声をかけて下さいました。
終始にこやかで、帰りには「気をつけてお帰り下さいね」
とまで言って頂き、本当に感激いたしました。看護師さ
んの仕事はハードだと知っていますが、そんな中でも優
しく接して頂き、久しぶりに気分もホッコリ致しました。
本当にありがとうございます。

004 会長 御挨拶

心臓血管外科術後の会 会長 橋口 順子



残暑がひときわ身に染みる毎日ですが、皆さんおそろいで賑やかに過ごしのこと
と思います。水分補給や室温管理に気を付けて暑さ対策に引き続きお気をつけ下さい。

ニュースに目を向けると、コロナウイルス感染症が落ち着いたこともあり、夏らしい
行事がだんだんと再開しているようですね。

浴衣を着ての花火大会、夏の旬の食材を食べて元気をつけるのもいいかもしれま
せん。夏の食材は、美味しいだけでなく、体を冷やしたり疲労回復にも効果があり、
夏バテ予防にも役立つそうですよ。

術後の会は対面開催も間近に迫っており、私は皆様のお顔を見てお話するのを
大変楽しみにしています。

まだまだ暑さが続きますが、会員の皆様、くれぐれもお身体をご自愛くださいますよ
うお祈り申し上げます。

